

第9章 鎌倉市環境教育行動計画

1 環境教育（目標項目⑯）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

◆基本方針

- 持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
- 自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成 15 年(2003 年)に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）」が制定され、平成 23 年(2011 年)度には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

本市では、平成 19 年(2007 年)に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定し、また平成 27 年(2015 年)度には持続可能な開発のための教育（ESD）の趣旨を反映するなどし、「鎌倉市環境教育行動計画」として改めて策定しました。本市ではすべての人が身近な環境から国や世界、将来世代の環境を意識して行動できることを目指した環境教育を推進しています。

目標を達成するための取り組み

第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

環境教育は継続的に行うことや、年齢・ライフステージに応じて取り組んでいく必要があるため、環境問題に関心を持つための情報提供や学習会等の実施を推進し、環境保全に対する知識の増進及び知識の芽の育成に取り組めます。

主な事業	事業内容	実績
夏休み子ども向け自然観察会（少年期） 【環境政策課】	環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。	実施回数：1回 参加人数：15名（小学生9名、保護者6名）
酸性雨調査の実施（少年期） 【環境保全課】	大気保全に対する意識啓発を図るため、観測調査の体験を通じた大気環境の学習を実施します。	○子ども酸性雨調査 実施なし 平成30年度で終了。
出前講座（少年期） 【環境保全課】 【ごみ減量対策課】	<p><環境保全課> 小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの有効活用等、環境についての講義を実施します。</p> <p><ごみ減量対策課> 市内保育園、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象に、ごみの減量・資源化の啓発等についての講座を実施します。</p>	<p><環境保全課> ○酸性雨出前講座 実施なし ○水生生物等環境調査 参加校：1校 参加人数：67名</p> <p><ごみ減量対策課> 市内小中学校の児童379人に対し、環境教育（出前講座）を実施。</p>
下水道に関する啓発活動の実施（少年期以上） 【下水道河川課】 【浄化センター】	下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR事業を実施します。	<p><下水道河川課> ・市が独自に作成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校25校及び4支所等に掲示した。</p> <p><浄化センター> ・市内在住・在学の小学生とその保護者を対象に、「夏休み親子下水道教室」と題して、下水処理場の見学や簡単な水質実験等を行い、下水道事業の周知及び理解促進を図った。（参加者：21名、うち保護者13名）</p>
農業体験事業の実施（少年期から高年期） 【公園課】（指定管理者） 【環境政策課】	アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。	鎌倉中央公園において、（公財）鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。 田んぼ体験（4月6日～3月8日）は延べ480人、畑体験（4月7日～3月25日）は延べ216人の参加者がありました。

食育に関する啓発活動の充実（少年期から高年期） 【市民健康課】	食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。	食に関する講座において、食べ残しをしないように声かけを行いました。また、片付けの際にはウエスやアクリルたわしを使用しました。
緑の学校（青年期） 【みどり課】	緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。	講座を10回開催。 受講者数延べ数258名
緑のカーテン栽培講座（全年代） 【環境政策課】	市民を対象にゴーヤ苗を育てて緑のカーテンを作る講座を実施し、緑化の効力を学び緑のカーテンを広めます。	実施回数：2回 参加人数：50名（1回目：32名、2回目18名）

●子ども酸性雨調査

＜環境保全課＞

子どもたちが調査を通じて大気環境の実態を学習し、大気保全の重要性を理解することを目指し、市内の小中学校等を対象に酸性雨調査を平成9年度から毎年実施しています。平成30年度は、16の小中学校等、497名が参加しました。

調査の結果、酸性雨のpHはここ数年横ばいの状況が続いています。児童・生徒たちからは、「パックテストの色の変化するのを見てともおもしろかったし、驚いた。」「日にちが違っただけで何性かがすごく変化した」などの感想が寄せられました。

酸性雨調査結果はパンフレットにまとめ、調査に参加していただいた生徒へ配布するなど環境学習の資料として使用しています。

※令和元年度以降実施していません。

表 9-1 子ども酸性雨調査参加者数と pH 平均値

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
参加者数(人)	479	420	419	510	497
pH 全校平均値	5.4	5.4	5.2	5.6	5.6

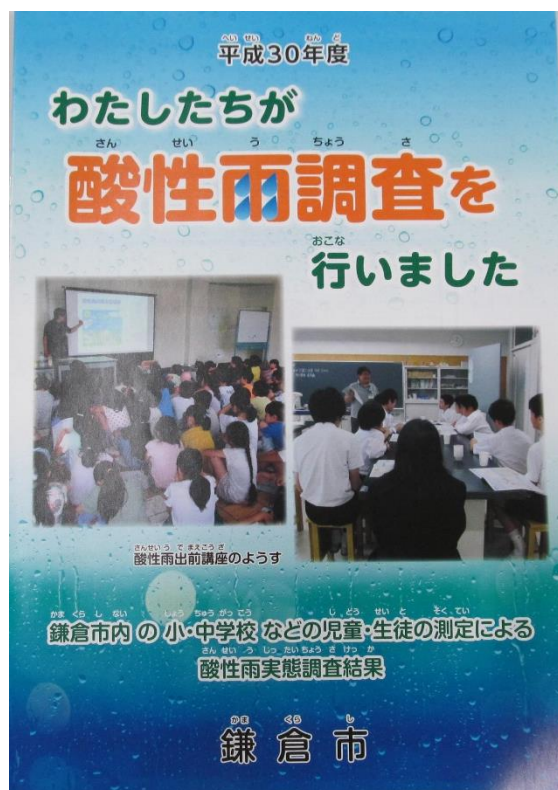


写真 9-1 酸性雨報告書

●環境保全に関する作品コンクール

<環境保全課・みどり課・下水道河川課>

夏休みの自由研究として、平成7年度から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

令和元年度（2019年度）は「緑」（小学生4～6学年、中学生対象）と「まちの美化」（中学生対象）という二つのテーマで実施しました。応募作品（ポスター）は、緑に関するものが120点、まちの美化に関するものが211点で、その中から「緑」では26点、「美化」では26点が優秀作品として選ばれました。

小中学生及び一般の方を対象に9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、「下水道いろいろコンクール」が実施されました。

●環境保全関連講座の開催

＜青少年課・教育総務課＞

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-2のとおり講座を開催しました。

表 9-2 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
たのしい科学実験教室Ⅰ「空気」	令和元年5月25日(土) 玉縄青少年会館	18人
たのしい科学実験教室Ⅱ「ひかりと色」	令和元年7月13日(土) 玉縄青少年会館	30人
たのしい科学実験教室Ⅲ「気象」	令和2年2月8日(土) 鎌倉青少年会館	33人
こども科学実験・サイエンス教室Ⅰ「空気のチカラ」空気砲実験	令和元年8月27日(火) 玉縄青少年会館	16人
こども科学実験・サイエンス教室Ⅱ「色々おもしろスライム」	令和元年6月2日(日) 玉縄青少年会館	16人
こども科学実験・サイエンス教室Ⅲ「プラスチックであそぼう」	令和2年1月13日(月) 玉縄青少年会館	15人
JAXA コズミックカレッジ(宇宙教室)	令和元年8月5日(月) 玉縄青少年会館	75人
おもしろ実験教室①「私たちと水」	令和元年9月29日(日) 鎌倉青少年会館	12人
おもしろ実験教室②「動画のふしぎ」	令和元年11月24日(日) 鎌倉青少年会館	6人
こどもサイエンス教室 夏A 人口イクラを作ってみよう!	令和元年7月15日(月) 鎌倉青少年会館	8人
こどもサイエンス教室 夏B	令和元年8月31日(土) 鎌倉青少年会館	16人
こどもサイエンス教室 冬C	令和元年12月22日(日) 鎌倉青少年会館	16人
鎌倉の海の魅力ー海辺から見える昔の暮らしー	令和元年9月12日(木) 深沢学習センター	19人

●消費生活移動教室の開催

＜市民相談課＞

食の安全や住生活などの身近な消費生活に関する事柄をテーマに取り上げ、学習の場を提供しています。その内、令和元年度に開催した環境問題に関連した教室の状況は表9-3のとおりです。

表 9-3 消費生活移動教室の概要（環境問題関連）

講座名	内 容	参加者
夏休み子ども教室 LEDを学ぼう！	LED電球を使ったランプシェードを作成する。LED電球の特徴や白熱電球、蛍光灯との違いを学び、省エネに対する意識を深める。	親子 14 組 28人

●学校における環境教育の取組

＜教育指導課・環境政策課＞

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。※牛乳パックのリサイクルについては、小・中学校全校で実施しています。

表 9-4 公立小・中学校における環境教育の取組

学 校 名	内 容	学 年
第一小学校	海・野山で自然と触れ合う	1～3年
	稲、野菜、花の栽培	全学年
	環境学習（ごみとリサイクル）	3・4年
第二小学校	稲、野菜、花の栽培	全学年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	地域の自然調査	3年
	稲の栽培	5年
御成小学校	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	環境学習（ペットボトルキャップリサイクル）	全学年
	環境学習（リサイクリエーション）	6年
	野菜・花の栽培	全学年
	水の学習	4年
	稲の栽培	5年
	生物の飼育	5年
稲村ヶ崎小学校	稲・野菜の栽培	1～5年
	生物の飼育	2・3年
	海の学習	3・5年
	地域の自然学習	3・4年
七里ガ浜小学校	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	全学年
	広町の自然と触れ合う	1～6年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
腰越小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	生物の飼育	3年
	上下水道について	4年
	環境学習（海・ごみ・温暖化）	5年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫	全学年
	自然とのふれあい、観察	1～3年
	環境学習（ごみと水問題）	4年
	地球温暖化について	6年
	谷戸の活動	5年
小坂小学校	稲の栽培・谷戸の活動	3年・5年
	地球温暖化	6年
	野菜の栽培・収穫	1・2年・若竹
	湧き水・水の学習	4・6年
	環境学習（SDGs）	4・6年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	農家の訪問と調べ学習	3年
	環境学習（出前授業・ごみ問題）	4年
	水・森林の学習と調べ学習	4年
	漁業（資源問題と調べ学習）	5年
山崎小学校	地域の自然観察	全学年
	稲・野菜の栽培	全学年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1・2・3・5
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	生物の飼育	3年
	環境学習（宮ヶ瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学）	4年

学 校 名	内 容	学 年
今泉小学校	野菜・花の栽培	全学年
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	環境学習（寒川浄水場他見学、水・ごみの調査・学習）	4年
	環境学習（出前授業・稲（米）について）	5年
富士塚小学校	稲・野菜・花・へちま栽培	全学年
	植物栽培、畑づくり	1・2・3・6
	中央公園の自然と触れ合う	1～3年
	環境学習（水・ごみの調査・学習）	4年
関谷小学校	関谷川（水質調査）環境学習	6年
	野菜、花の栽培	全学年
	稲（米）について（出前授業）	5年
	地球の環境について（絶滅危惧種等）	4～6年
	生物の飼育	3年
大船小学校	野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（水について）	4年
	稲（米）について	5年
植木小学校	稲・野菜・花の栽培	1～5年
	ごみの分別収集を通じてごみ問題を考える（エコキャップ）	全学年
	地域の自然観察	1～3年
	環境学習（ごみ・水・リサイクル・エネルギー）	4～6年
第一中学校	環境学習（修学旅行やキャンプで自然や環境保全の必要性について）	2・3年
	海の教室	1年
第二中学校	身近な自然環境の保全活動	全学年
	作物の栽培	1年
御成中学校	学校林の手入れ	全学年
	南斜面の整備	2年・科学部
	谷戸体験（下草刈り）	1年
	野菜の栽培	科学部
腰越中学校	海や川の清掃	全学年
深沢中学校	校地緑化活動	全学年
	作物の栽培	特別支援級
手広中学校	環境新聞づくり	1年
	学校緑化、リサイクル活動	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとする調査・体験活動	全学年
玉縄中学校	自然とふれあう体験活動	2年
岩瀬中学校	地域の自然環境をテーマとした調べ学習	1年
	自然学習（里山の下草刈り）	3年

私立学校における環境教育の取組

学校名	鎌倉女学院中・高等学校	代表者	錦 昭江	担当者	岡田 健一
取組状況					
中3					
「環境」という授業を1年間行い、環境問題について班ごとに調べ、次のようなテーマで発表してもらいました。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染 ・ エネルギー問題 ・ 地球温暖化 等 					
高2					
沖縄の自然や環境問題について学びました。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や書籍、インターネットで沖縄の環境問題について学びました。 ・ レポートで、さんご礁の被害など海洋生物の問題についてまとめ、報告しました。 					
高3					
英会話の授業の中で、4技能を使いながら、プレゼンテーションするプロジェクトの中に環境問題を取り上げ、ディベートをするグループがありました。					

事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業を実施。令和元年度の鎌倉市内では、小学校2クラス、中学校1クラスを実施。【東京ガス株式会社】【東京ガス株式会社】
- ・太陽光発電、風力発電モデルを使った子ども環境教室への協力を実施。【東京電力パワーグリッド株式会社】
- ・LED照明の環境貢献（省エネ性）について、出張講習を実施。（小学校でのLED工作教室実施など）【三菱電機照明株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施。【株式会社イソダ】

第2節 環境教育を実践できる人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進における指導者や教職員の育成や資質の向上に努めるとともに、指導者を地域の環境学習会等に派遣するなど、地域や学校の取り組みを支援します。

主な事業	事業内容	実績
緑のレンジャー（ジュニア）の育成 【みどり課】	自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。	講座を10回開催。 受講者数延べ258名 （当初は11回の講座開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等の観点から1回分中止した）
緑のレンジャー（シニア）の育成 【みどり課】	市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャー（シニア）を育成します。	講座を11回開催。 受講者数延べ113名
アドバイザーの派遣 【環境政策課】	環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。	講習会等に38回、214人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ2,498名
学校職員の環境教育 【教育センター】	学校職員が環境に関する知識や技術を習得するため、環境教育の研修会を開催します。	鎌倉市初任者研修会 テーマ「自然体験から人間の感性を育てる」 講師 五感教育研究所 高橋 良寿氏 日時：8月23日（金） 会場：足柄ふれあいの村 参加者：20名 教育課程研修会（学校支援研修会）テーマ「SDGsと新しい学習のスタイルについて～中学校で取り組めるSDGs～」 講師 上智大学グローバルコンサーン研究所員（認定NPO）開発教育協会理事 田中 治彦氏 日時：6月4日（火） 会場：玉縄中学校 参加者：32名

第3節 環境教育をする場、素材の整備

環境保全活動や自主的な環境学習活動を促進していくために、水辺、緑地といった、環境学習フィールドとして適した場所についての地域づくりを推進します。

主な事業	事業内容	実績
緑地の整備促進 【みどり課、公園課】	自然環境の保全、活用を基調に、健康づくり、ふれあいや憩いの場づくりとして、緑地を整備・充実します。	<p><公園課> 社会資本総合整備計画に基づき、鎌倉市吸収源対策公園緑地事業を実施。 山ノ内宮下小路緑地は、令和元年12月2日に都市計画決定され、残る事業への着手を予定している。 (仮称)山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は用地取得及び整備を実施中。都市緑地部分は令和元年7月26日に都市計画事業認可を受け、残る事業への着手を予定している。</p> <p><みどり課> 確保緑地の適正整備事業(常盤山特別緑地保全地区)を6回実施。</p>
公園の整備促進 【公園課】	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	同上
ハイキングコースの維持管理 【観光課】	市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。	市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施しました。また、令和元年台風第15号及び第19号の影響で倒木やがけ崩れ等の被害が発生したため、3か所のハイキングコースを全面通行止めとし復旧を行っています。令和元年度末時点では、葛原岡・大仏ハイキングコースのうち葛原岡神社～大仏坂間の復旧が完了しました。
ビオトープ等の整備 【環境保全課】	市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。	平成13年に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。

		見学を希望した県外小学校1校12名、市街の小学校1校21名に対して、ビオトープや関連する生物についての解説を実施。
倉の環境保全の解説 【環境保全課】	希望者に鎌倉の環境保全についての解説を実施します。	まち美化について市内の中学生14名に対して解説を実施。
日本遺産事業 日本遺産いざ鎌倉協議会	日本遺産の情報発信、普及啓発等のため、事業を行ないます。	鎌倉の日本遺産のストーリーや構成文化財、その他鎌倉に所在する貴重な歴史的遺産等の周知を図るとともに、日本遺産を通じて鎌倉の歴史的・文化的価値や魅力を、国内外からの来訪者に対して広く伝えることを目的とし、日本遺産を紹介するブックレット（日本語版）の改訂・増刷、イベントへの参加を行いました。

環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

●生涯学習ガイドブック

＜教育総務課＞

毎年発行している「生涯学習ガイドブック」には、様々な分野の生涯学習の指導者、学習グループ・サークル、生涯学習施設などを掲載しており、自然や環境の分野に関わりのある指導者、グループについても紹介しています。

●教育資料の刊行

＜教育センター＞

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校3・4年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

●環境に関する図書館資料の充実

＜中央図書館＞

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が3,836点(図書3,568点、雑誌154点、AV資料114点)(令和2年3月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

第4節 環境教育に関する情報提供

「ライフステージに応じた環境教育の実施」、「環境教育を实践できる人材の育成と活用」、「環境教育をする場、素材の整備」の施策を充実させるため、環境教育に関する情報提供を行います。

● 広報かまくら

＜広報広聴課＞

市の情報提供媒体として、原則毎月2回発行している広報紙「広報かまくら」があります。主な環境教育関連記事として、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、クリーンアップかまくら開催、光化学スモッグへの注意喚起、深夜花火の禁止、ライトダウンキャンペーンの呼びかけ、生ごみ処理機直接販売、環境調査の結果、こちら環境通信局（連載）、廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例への意見募集、ごみの持ち込み事前予約制、環境ポスター募集、食品ロス、環境関連イベントの告知などを掲載しました。

● 鎌倉ごみ減量通信

＜ごみ減量対策課＞

鎌倉市のごみ減量・資源化施策の紹介する鎌倉ごみ減量通信について、年2回の通常号、また、年1回の特集号を発行しました。

● J:COM 湘南・神奈川

＜広報広聴課＞

ケーブルテレビ「J:COM 湘南・神奈川」の「鎌倉市からのお知らせ」として、毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして1日4回、週28回の放映を行い、市の環境政策などのさまざまな情報について紹介しています。

● かまくらFM

＜広報広聴課＞

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、市の環境政策などのさまざまな情報について放送しています。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

● 市ホームページ (<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

＜広報広聴課＞

インターネットを活用し、環境関連などさまざまな情報を発信しています。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>)では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/kankyoukeikaku/index.html>)では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>)でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebookページ（鎌倉市役所日記）

<https://www.facebook.com/kamakuracity.his yokoho>

＜広報広聴課＞

主に行政情報をお知らせしている鎌倉市役所日記は、省エネに関する講座、市内の清掃・環境保全活動なども掲載しています。鎌倉市役所日記自体の更新頻度は、市役所開庁日であれば数日に1回程度ですが、環境に関する催し物の開催日時等によって、随時更新しています。

●広報広聴課 twitter (https://twitter.com/kamakura_koho)

＜広報広聴課＞

市ホームページのトップページにある「お知らせ」欄や広報かまくらに掲載された情報を、広報広聴課の twitter にも掲載しています。twitter には掲載できる文字数に限りがあるので、市ホームページのアドレスを掲載し、詳細は各ページで確認できるようにしています。

●Youtube (<https://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

＜広報広聴課＞

市の公式アカウントで、J:COM 湘南・神奈川で放送した市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しています。

●市公式LINE

＜広報広聴課＞

Bot 機能を搭載したごみに関する市の別アカウント「鎌倉ごみ調べ」と連携し、ごみの出し方について情報発信しています。

●暮らしのガイドブック

＜広報広聴課＞

暮らしのガイドブックは市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子で、中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度などを掲載しています。

■各主体との連携

●環境保全団体活動に対する支援

〈環境保全課〉

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表9-6のとおりです。

表9-6 環境保全団体に対する支援の実施状況

年度	項目	通信助成		講師派遣助成		後援	
		団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
平成28年度		3	243通	—	—	1	1回
平成29年度		2	202通	—	—	3	1回
平成30年度		2	121通	—	—	6	6回
令和元年度		1	74通	—	—	6	7回

●市内環境保全団体等の活動状況

〈市民・事業者〉

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から令和年度の活動内容を報告してもらい、原文のまま掲載しました。

団体名	特定非営利活動法人 鎌倉ガイド協会	会員数	129名	代表者	会長 高橋健治
活動目的	鎌倉ガイド協会は、鎌倉及び鎌倉周辺を訪れる人々や在住者に、史跡、文化財等の案内、解説をし、理解していただくことにより地域の魅力を伝え、観光の振興、文化の普及、社会教育及びまちづくりの推進に寄与することを目的として活動しています。				
<p>【活動の内容】</p> <p>* 史跡案内</p> <p>当協会は、協会が独自に企画して案内する「史跡めぐりガイド」、鎌倉近辺の観光ガイドを希望される方を対象として実施する「一般ガイド」、小中学校や旅行会社からの依頼により案内する「総務ガイド」を行っています。</p> <p>【活動の成果】</p> <p>平成31年度は特別に2月から3月にかけて新型コロナウイルスの影響を受けて催行中止が続きましたが「史跡めぐりガイド」は8,422名、「一般ガイド」は2,117名、「総務ガイド」は9,678名、合計では20,217名の方々のご案内をしました。</p> <p>当協会では、毎年会員を対象とした研修会を毎月開催して、史跡や自然を学び、歴史的遺産や自然環境の保全、美しい街づくりなど環境の保全・啓発に努めています。</p> <p>又、当協会は、鎌倉を訪れ、鎌倉観光をされる人々に古都鎌倉の良さや自然環境の大切さを伝えています。そのために、「ごみ」の持ち帰り、植物を大切にす、周囲の環境を壊さないようにする等の啓発を行っています。併せてガイドコース下見時にはガイド数名がトングを持参して、道路・寺社境内のゴミ拾いを積極的に行っています。また鎌倉市、その他が主催する清掃活動への参加、植樹の協力、散策路の整備、歩行中の人や近隣の皆様、社寺等に迷惑のかからないようにするなど、環境に対する保全と啓発活動を行っています。</p>					

団体名	かまくら環境会議	会員数	22名	代表者	大道不二子
活動目的	自然保護、調査活動、環境啓発、環境学習支援、学習会、情報発信				
<p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鎌倉市の河川維持管理協力団体として、扇川の生物・水質調査を原則として奇数月の土曜日に、水部会を中心に5回実施しました。その他、ホタルの観察会を2回（扇川 関谷川）開催しました。また、扇川の清掃及び草刈を1回行いました。 ○ 2月（平成31年）に 講師 山田海人さんで「北鎌倉の自然」の学習会を行いました ○ NPOセンターフェスティバルに展示参加をし会のアピールをしました。 ○ 9月に神戸川環境調査を実施しました。 ○ 「扇川だより」を発行しました。 ○ 会報「エコ・コミュニティ」を2回発行しました。 ○ 石原谷戸と関谷川の環境調査を2回実施しました。 ○ 6月22日に総会を開催し、総会終了後、これからの環境会議について話し合いました ○ 5月と12月に海岸調査を実施しました。 ○ 10月に関谷小学校環境教室に講師として参加しました。 ○ 11月に鎌倉市立第二小学校環境教室に講師として参加しましたに ○ 行政主催の環境教室に協力しました。 <p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○扇川の水質・生物データを市に提供し、共有することができました。 ○環境教育では、市民や子供達への支援をすることで、啓発の一端を担えました。 ○行政や企業、また他の市民団体との協働により、意識の共有ができました。 ○環境保全やまち美化に貢献できました。 ○「よへい屋敷谷戸の会」にアドバイザーとして参加しました。 					

団体名	特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会	会員数	325名	代表者	相川明子
目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する市民活動				
<p>【活動内容】</p> <p>「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。</p> <p>当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、堆肥を利用した循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)を設け、鎌倉中央公園内の谷戸において、昔ながらの農文化を継承した手法にて、谷戸の景観と生態系を保全しています。</p> <p><年間の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7つの班により、季節に応じた保全活動を実施(270回) そのうち、70回は(公財)鎌倉公園協会との協働事業 ・事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等 ・谷戸まつりを開催し(年2回)、保全活動で収穫した農産物や加工品を会員・一般市民に頒布 ・会報の発行(年6回) 谷戸塾開催(全45回 内訳: 田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各38回、谷戸講座7回実施) 環境省主催モニタリングサイト1000里地調査・事務局員向け勉強会開催 <p><行政、公園課、公園協会との協働など></p> <p>3者協議に出席(4回) 鎌倉市職員研修受け入れ</p> <p><主要事業及び(公財)鎌倉公園協会との協働事業></p> <p>理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、子ども里山体験、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホテルの紙芝居」とパトロール、春の七草・どんど焼き</p> <p><体験学習の受け入れなど></p> <p>鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めています。毎回、事前に学校、担当者間で打合せ、実施後は担当者・体験学習スタッフ間で反省会を行い、活動記録を作成し充実化に努めています。深沢小学校5年生 特別支援教室ひだまり 富士塚小学校5年生 大船中学1年生 御成中学1年生、風致保存会主催の中学生保全活動(深沢中3年生)その他、深沢小学校教員補助作業、鎌倉市保育士講座、富士塚小教員補助作業を行いました。西鎌倉幼稚園観察会をしました。</p> <p><他団体の受け入れなど></p> <p>自然環境復元協会主催 若手ボランティア(かまくらレンジャーズ保全活動受け入れ)・PHD研修生 谷戸体験・かまくら子育て支援グループ懇談会と共催 かまくらママ'Sカレッジ「サトイモとどろんこ」・青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動・県職員研修・鎌倉市職員研修・かまくら認知症ネットワーク「かまくら散歩」・JR東日本「鎌倉山崎・森人の会」保全活動・「命を守る南相馬防潮堤」プロジェクト 鎌倉山崎・森びとの会 保全活動</p> <p><他団体への訪問・交流・会議出席など></p>					

山崎の夏祭り協力・深小ふれあい広場にて炊き出し・かまくら子育て支援グループ懇談会・鎌倉女子大共催の「かまくらパパ・ママカレッジ」に展示発表・かながわコミュニティーカレッジ

<PR・展示活動>

NPOセンターフェスティバル参加・鎌人いち場参加・NPOセンター地下道ギャラリー展示・かまくら子育て支援グループ懇談会鎌倉女子大共催の「かまくらパパ・ママカレッジ」にパネル展示

<取材・掲載>

鎌倉FMで毎月第2第4水曜日の朝「おはよう かまくら」にライブ出演・KCTV(年間数回)

<農産物の寄付提供>

近隣町内会、福島被災者支援活動、かまくら子育て支援グループ懇談会、第3地区社会福祉協議会、高齢者ケア施設など

団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	150名	代表者	岩田 晴夫
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				
<p>【活動の内容】</p> <p>私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティーの向上をはかることを目的として活動を実施しています。</p> <p>① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月2回実施しています。</p> <p>自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上・生物多様性の保全)を図ること等が目的です。</p> <p>コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993年5月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993年5月～)等の作業を実施しています。</p> <p>② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。</p> <p>③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。</p> <p>④ 平成6年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)の活動を年間10回指導しています。</p> <p>⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。</p> <p>佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。</p> <p>⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。</p> <p>⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。</p> <p>⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。</p> <p>⑨ (公財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1月)しています。</p> <p>⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。</p> <p>⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。</p> <p>⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。</p> <p>⑬ 特定外来生物のアライグマとタイワンリスの鎌倉市防除実施計画に協力しています。</p> <p>⑭ 神奈川県藤沢土木事務所から河川管理協力員を委嘱されており(2001～)、神奈川県管轄の柏尾川・滑川・神戸川の護岸整備工事・維持管理等に際し、野生動植物の生息環境保全の面から助言を行なっています。</p> <p>⑮ 貴重種・重要種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査を実施中です。</p>					

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿性花園内に既存動植物の保全区域を維持している。主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。近郊緑地保全地区や開園後の夫婦池公園等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の整備・維持管理に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。獣類の“離れ”個体に係る情報をまとめ、県と市の関係機関に提供しました。附属小学校のビオトープ「ひょうたん池」を月一回モニタリングし、維持管理について助言しました。国史跡・永福寺跡の苑池や梶原7号緑地の調整池等の維持管理について協力しました。鎌倉市の許可を得て、市内の保全緑地や公園等にトレイルカメラを設置し、鳥獣の生態・保護に関わる情報の収集を図り、鎌倉市に情報を提供し、維持管理に役立てて頂いております。近年、滑川河口部の滑川橋の老朽化が目立ち、橋脚の補強工事後も、モニタリング結果を定期的に藤沢土木事務所へ報告して来たが、ようやく橋自体の補修工事が実施され、緊急災害時の鎌倉市の動線の一つが確保された。



▲ “自主探” 満 40 年記念撮影



▲常盤山で採餌中のタヌキ



▲附属小・ひょうたん池の調査

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	1,291名	代表者	岩田 昭文
-----	-------------	-----	--------	-----	-------

活動目的	まちの美化活動／環境出張教育／生物多様性活動の推進				
------	---------------------------	--	--	--	--

【活動の内容】

1. まちの美化活動

三菱電機(株)鎌倉製作所及びインフォメーションシステム統括事業部、関係会社(6社)*1の有志を募り、通勤で利用している工場周辺の道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は03年度より開始し、17年度からは湘南町屋駅に「鎌倉市アダプト・プログラム」ののぼり旗を掲げて、美化活動への意識の高揚を図っています。

また、鎌倉市と藤沢市を流れる柏尾川沿いの県道304号線を、周辺企業3社*2と年1回の頻度で連携し、一体となって鎌倉の環境保全に繋げる清掃活動や、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2019」にも有志を募って積極的に参加しています。



【活動の成果】

1) 定量的な成果

①通い道クリーン活動	: 2019年度	合計	1,291名参加
②県道沿い清掃	: 2019年度	合計	21名参加
③クリーンアップ鎌倉	: 2019年度(春・秋)	合計	116名参加

2. 環境出張教育

鎌倉製作所で製造されている製品や社員一人ひとりが取り組んでいる工場の環境への取り組み、工場周辺清掃・海岸清掃の社会貢献活動などを紹介しています。

今年で12年目の活動となり、継続的に開催することで、地域の子供たちへ環境マインドの醸成を図っています。

3. 生物多様性活動の推進

- 1) 構内緑地の整備
- 2) 希少植物「キンラン」の保護
- 3) 活動の定量指標化(社内のガイドラインに基づく数値目標の設定)

*1: 関係会社

三菱電機エンジニアリング(株)	三菱プレジジョン(株)	三菱スペース・ソフトウェア(株)
三菱電機特機システム(株)	菱電湘南エレクトロニクス(株)	菱栄テクニカ(株)

*2: 周辺企業

(株)神戸製鋼所 藤沢事業所	中外製薬(株)鎌倉研究所	(株)江ノ電バス藤沢 湘南営業所
----------------	--------------	------------------

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	10名	代表者	前島 仁
活動目的	気候変動、地球温暖化防止および省エネルギーなどの普及啓発活動への取り組み				
【活動の内容】 私たちはSDGsの気候変動、エネルギー、教育など社会的な課題解決の目標に取り組みました。					
気候変動：地球温暖化防止 「広く情報発信」 省エネカレンダー  	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県市民環境活動報告会が2月に神奈川県民ホールで開催され「地域での政策提言および普及啓発活動によるSDGsへの取り組み」をテーマに団体の活動を発表して反響を得ました。（70人参加） ・かまくら市民活動の日フェスティバルが11月にNPOセンター大船で開催され、ポスター出展で団体の地球温暖化防止および省エネルギーの取り組み活動を紹介しました。（300人来場） ・省エネ講座を9月に「スマートシニアライフ：エコライフ設計と実践」と題して開催し、シニアの方々へエコライフへの取り組みについて紹介してライフスタイルの転換を促進しました。（5人参加） ・省エネカレンダーを20部制作して、家庭で毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するよう12月に制作して配布しました。湘南の四季を愉しむ環境との共生をテーマにして、写真や省エネ俳句を掲載するなどによりたいへんな好評をいただきました。（20人参加） ・省エネメールニュースを会員・関係者へタイムリーな話題提供で情報発信しました。（200人回） 				
(2)エネルギー：省エネ・再エネ 「省エネを多くの方と共に実践」    	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネフォーラム「地球温暖化防止への取り組み」を4月に開催し、エネルギー政策関連のバリ協定、原子力および再生可能エネルギー、省エネ法（トップランナー制度、ベンチマークなど）の改正、エコアクション21の規格改訂、新炭素革命（蓄電池・電気自動車、有機EL等）の最新状況、電力・ガスの自由化向などについて国内外の動向を紹介して討議しました（8人参加） ・「エネルギーの自産自消」をテーマに省エネフォーラムを6月に開催して、太陽光発電、太陽熱、風力発電などエネルギーの自産自消を通じて脱炭素社会について討議しました。（14人参加） ・省エネ関連情報収集として、神奈川県内湘南地域における低炭素・温暖化防止対策の自治体間比較ベンチマーク、新炭素革命（蓄電池・EV、有機EL等）の最新動向などを調査しました。（2人調査） ・視察会を12月に開催して、横浜市の綱島サステイナブルスマートタウンを訪ね、低炭素と安全・安心なまちづくり、最先端のスマートシティと最新の省エネ技術を視察しました。（9人参加） ・オピニオン提言として、神奈川県の環境基本計画の進捗状況についてのパブリックコメントで意見陳述して、省エネおよび再エネの普及等に関する追加的な施策を提言しました。（6件提言） ・鎌倉市地球温暖化対策実行計画についてもパブリックコメントで意見陳述しました。（4件提言） ・国内での交流は、茨城県の「鹿嶋省エネ研究会」を訪ねて、情報の交換と共有を図りました。パートナーシップを形成して連携・協働について力を合わせていくことに取り組みました。（4人参加） 				

<p>(3)教育:省エネ体験講座 「省エネを次世代に伝授」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市立手広中学校のふれあい体験講座で1～3年生を対象に「家庭での省エネルギー」の出前講座を10月に開催しました。苗を受講生に配布して蒸散作用を体験、温湿度計を配布して室内の温湿度を測定して季節ごとのスマートライフと省エネ、環境との共生を実習で学びました。(8人受講) ・市内の高校、北鎌倉女子学園高校3年生、鎌倉女学院高校2年生および清泉女学院高校1年生を対象にして「地球温暖化防止対策と省エネルギー」の省エネ体験講座を7月25日、8月2日に2回に分けて実施しました。(9人受講) ・鎌倉市役所の若手職員を受入れて、1月に受入研修で「SDGsへの取り組みとまちづくり」の活動紹介を実施しました。鎌倉市の持続的な発展の為に、環境共生および低炭素社会に向けたまちづくりについて現在・過去・未来を事例で紹介しました。身近な事例を基にまちづくりの留意点などについても諸課題を提起し、他自治体とのベンチマーキング比較・考察、ベストプラクティスなどについても紹介して、演習および討議を実施しました。(2人受講) ・環境教育の実施効果を測定・評価する方法を新たに開発し、講義の実効性を向上するために有効な教育用ツールとして活用するようになりました。(9人使用)
<p>[活動成果] 自らの成果を広く紹介</p> <p>展示会等のイベントへの出展： 1回、 来場者：約300人（累計：16回、約3万人）</p> <p>省エネメールニュースの発信： 20回、 閲覧者：約200人（累計：250回、約千人）</p> <p>省エネ講座・フォーラムの開催： 3回、 受講者数：20人（累計：24回、約4百人）</p> <p>環境学習の体験講座・受入研修： 3回、 受講者数：19人（累計：25回、約2千人）</p>	<p>[今後の取り組み]  への取り組みを展開</p> <p>私たちは、小さな歩みで少しずつ発展し、地域からまちづくり、社会形成へ大きく進化しています。今後もSDGsへの取り組みを更に継続して地域の未来社会に貢献できるように一層の活動を展開していきます。</p>

団体名	かまくら桜の会	会員数	18名	代表者	高柳 英麿
活動目的	鎌倉市の木であるヤマザクラを中心に、市内の桜の保持、育成、市民へのPR活動を行う。				
<p>【活動の内容】</p> <p>◆植樹</p> <p>かまくら桜の会は、市内の桜を大切に思い活動しているグループと個人が集まり、平成20年に発足しました。以来、行政や日本花の会、日本さくらの会のご指導を頂き、市内各所に植樹を行っています。令和元年度は下記の場所に植樹をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月・・・京都府立植物園へ5本贈る（桐ヶ谷桜） <li style="padding-left: 40px;">葛原岡神社へ10本贈る（桐ヶ谷桜） <p>◆若宮大路の桜手入れと花植え</p> <p>若宮大路の桜の手入れと花植えを、毎月第3木曜日に行っています。草刈り、水やり、施肥などの作業を行っていますが、近年は特に弱った木が目立ちます。そのような場合は専門家の指導を頂いて適切な処置をとり、管理する藤沢土木事務所へ連絡をするなどしています。</p> <p>◆視察・見学</p> <p>鎌倉市内をはじめ他の市町村の緑や自然環境の様子を知ること、また会員同士の親睦を深めるために行なっています。4月上旬は各地域の桜まつり、一昨年度植えた鎌倉歴史文化交流館の桜見学などに参加し、会員や参加者に好評でした。</p> <p>◆講演会ほか</p> <p>12月19日・・・鎌倉駅東口広場クリーン運動</p> <p>3月に計画していた写真展と講演会は中止といたしました。</p> <p>【活動の成果】</p> <p>市内にはたくさんの桜愛護の会、桜愛好家のグループがあり、活動の様子について情報交換を行い、互いに協力できることの確認をしています。そのため各地域の桜の話題も増え、活動も活発になってきています。</p> <p>今後も植樹や手入れに力を入れ、講演会等を催し、桜の文化を楽しみながら学んでゆきたいと思います。</p>					

団体名	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議	会員数	174 名	代表者	高井幸恵										
活動目的	ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進														
【活動内容】	<p>◆かわら版の発行（行事予定とその内容の案内）毎月発行</p> <p>◆ホームページの毎月更新</p> <p>◆鎌倉市の市民啓発活動への協働参加（フードドライブ4回含む）11回</p> <p>◆リサイクルに関する相談アドバイス等</p> <p>○展示部会</p> <p>◆常設展示（通年）</p> <p>◆リサイクル作品展 10月15日～11月7日</p> <p>◆鎌倉駅地下道ギャラリー展示 6月12日～6月18日</p> <p>◆年末年始展示 12月19日～1月30日</p> <p>◆七夕展示6月28日～、クリスマス展示11月26日～、ひな飾り1月31日～</p> <p>○環境部会</p> <p>◆鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」（会の活動紹介）29号（年1回発行）</p> <p>◆情報シートNo62号発行（リサイクルに役立つ情報提供）年1回発行</p> <p>◆学習会・見学会プラごみミニ講座と施設見学会（鎌倉資源回収協同組合、テクノトランス）</p> <p>◆江ノ電で行くエコの旅（製品プラスチック回収施設 坂ノ下詰め替え所等）</p> <p>○イベント部会</p> <p>◆リサイクルマーケット（5月26日、7月28日、9月22日、11月24日）</p> <p>◆こどもリサイクルマーケット（7月リサイクルマーケットと同時開催）</p> <p>◆古着古本リサイクル市（コロナにより中止）</p> <p>○生活の知恵部会</p> <p>◆全187教室を開催</p> <table border="0"> <tr> <td>・生ごみ減量教室7回</td> <td>・修理修繕教室6回</td> </tr> <tr> <td>・リサイクル手芸教室 58回</td> <td>・衣類リフォーム教室23回</td> </tr> <tr> <td>・衣類お直し教室 20回</td> <td>・リサイクル工作教室17回</td> </tr> <tr> <td>・裂き織り教室 25回</td> <td>・布ぞうりづくり教室 7回</td> </tr> <tr> <td>・端布で作るつるし飾り12回</td> <td>・その他教室 12回</td> </tr> </table> <p>（活動内容は鎌倉市からの受託事業と自主事業を合計したものです）</p> <p>[活動の成果]</p> <p>事業実績は受託114回・1161人、自主事業73回、824人、併せて187回の事業を実施し、参加人数は延べ1985人でした</p> <p>[特記事項：不用品登録協働事業（愛称：リユースネットかまくら）]</p> <p>本会とNPO法人シチズンネット・鎌倉市の三者による協働事業。市民の「譲ります」「譲って下さい」の情報をインターネットに公開。その橋渡しの活動。</p> <p>登録申し込み 1730件 ・応募 1778件 ・成立 1274件</p> <p>● 古着古本などのリサイクル</p> <p>特定非営利活動法人 鎌倉リサイクル推進会議では笛田リサイクルセンターを会場に、不用になった品物を必要な人が再使用できるように、各種のリサイクルマーケットを開催しています。</p> <p>令和元年度の開催したマーケット等の実績は表のようでした。</p> <p>表 リサイクルマーケット等の開催状況</p>					・生ごみ減量教室7回	・修理修繕教室6回	・リサイクル手芸教室 58回	・衣類リフォーム教室23回	・衣類お直し教室 20回	・リサイクル工作教室17回	・裂き織り教室 25回	・布ぞうりづくり教室 7回	・端布で作るつるし飾り12回	・その他教室 12回
・生ごみ減量教室7回	・修理修繕教室6回														
・リサイクル手芸教室 58回	・衣類リフォーム教室23回														
・衣類お直し教室 20回	・リサイクル工作教室17回														
・裂き織り教室 25回	・布ぞうりづくり教室 7回														
・端布で作るつるし飾り12回	・その他教室 12回														
イベント名	実施日	実施内容	来場者数												
リサイクルマーケット・こどもリサイクルマーケット	令和元年5月26日、7月28日、9月22日、11月24日	出店数 合計132店舗	合計 1407名												
古着古本リサイクル市	令和2年3月の古着古本リサイクル市は、新型コロナウイルス感染のため中止と致しました。														

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	6自治・町内会 会員3,900世帯	代表者	中原 攻
活動目的	<p>① 連合会（8自治・町内会）は25年にわたり、広町緑地の開発反対運動を展開し、その開発を阻止し保全を獲得した成果をふまえ、同緑地の都市林の構築・管理運営に寄与し、これを次世代に継承していきます。（自治会・町内会の数は、多少の増減があります）</p> <p>② 広町緑地の保全・維持・管理活動に参加・支援し、周辺自治・町内会の住民に、広町緑地の関連情報を提供し、意見を集約し、都市林の管理運営に反映させます。</p>				
<p>【活動内容】</p> <p>1) 都市林構築に参画——広町緑地の都市林構築に関して、基本構想、基本計画、基本設計及び実施設計に関与し、広町周辺の連合会加盟自治会・町内会の意見を集約し、反映させてきました。今後とも、よりよい都市林とするため、指定管理者と協力して広町緑地の管理運営に、地元住民の立場で参画していきます。</p> <p>2) 広町緑地周辺の連合会加盟自治・町内会の意見吸収し、鎌倉市、指定管理者や関連団体との意見交換を行い、要望の実現を図ります。「鎌倉広町緑地懇話会」のメンバーとして提言しています。</p> <p>3) 各種イベントを通して、地域住民や子供達が広町緑地と親しむ機会を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日の午前中、「広町ウォーク」を開催して、周辺住民が広町を訪れる機会を設けています。 ・毎年4月と10月、「広町の草花を愛でる会」を開催。広町の自然や桜・草花などに親しむ機会を設けています。 ・毎年6月、各自治会で行う「ホテル鑑賞会」の開催の支援を行っています。 <p>今後共、上記の各イベントは、加盟自治会・町内会以外の人々の参加も受け入れていきます。</p> <p>4) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も有力な広報活動である「連合会ニュース」を年1回程度発行し、加盟自治会・町内会全世帯（約4000世帯）に配布しています。ホームページも設置しています（http://hiromachi.sakura.ne.jp/）。 ・広町緑地の花カレンダーを毎年作成し、加盟全世帯等に配布（約5000部）しています。 <p>5) 広町緑地の保全運動の歴史をとりまとめ、他の地域の自然保護運動に資するよう提供すると共に、次の世代の人々にも伝承するための活動を行っています。</p> <p>① 2008年12月、広町緑地開発反対運動の25年間の歴史をまとめた本「鎌倉広町緑地はかくて守られた」を発刊し、鎌倉市・県・国並びに周辺の学校等に寄贈すると共に、連合会関連の希望者には有償配布しました。（連合会として合計1000冊以上を寄贈及び有償配布しました。）</p> <p>② 2015年5月、広町の運動史の詳細版として、「鎌倉広町緑地保全運動史—25年にわたる市民運動の記録と資料」（CD付）を編纂し発行しました。これは、鎌倉市・県・国及び全国の県立図書館等（国立国会図書館を含め計63冊）並びに主な大学（計70冊）などに合計150冊を寄贈しました。</p> <p>6) 渉外活動——自然環境保護に関する勉強会として、里山保全を実施している他の公園を見学して情</p>					

報収集していましたが、2019年度は新型コロナウイルス禍のため中止しました。

7) 広町緑地の保全・維持・管理活動への協力——鎌倉市が応募した「広町5つの会」(田んぼの会、畑の会、森の会、自然観察の会、散策路の会)に、広報等で支援・協力しています。実作業は各個人がそれぞれボランティアとして参加していますが、本年度は9月にホタルの生育環境改善のために連合会(21名)として水路沿いの草刈り・枝打ち作業に参加しました。

【活動の成果】 — 上記の**【活動内容】**に述べたような広町緑地の管理運営に関して指定管理者に協力していましたが、本年度は連合会として広町緑地の維持管理の実作業に参画できました。今後も実作業を継続する予定です。

以上